

臨時レポート

FOMC 2020年1月会合で金融政策を現状維持

当面金利を据え置く姿勢を示した声明文に変更なし

- ▶ FOMCは2020年最初の会合で政策金利の据え置きを決定。
- ▶パウエル議長は新型コロナウイルスの感染拡大について「近い将来、中国などの経済活動に影響はあるだろう」と発言し、注視していく姿勢を示した。

<当面金利据え置き姿勢は変わらず>

- FOMC(米連邦公開市場委員会)は1月28~29日の定例会合で、政策金利を1.50~1.75%に据え置くことを決定しました。声明文では金融政策のスタンスを「目標とする2%にインフレ率が戻ることを支えるために適切だと判断している。」とこれまでの目標の維持を目的としたスタンスから、やや下方修正しました。この修正により、当面政策金利を据え置く姿勢に変わりはないものの、インフレ率を目標値へ戻すため、緩和的な金融政策も採りうることを示したものと想定されます。

<インフレ指標は2%を下回る状態も雇用は堅調>

- FRB(米連邦準備制度理事会)がインフレ指標としている食品とエネルギーを除いたコア個人消費支出(PCE)物価指数(2019年11月)は、前年同月比で+1.6%と10月の同+1.7%から低下し、FRBが安定水準と見なす2%を下回って推移しています。
- 2019年12月雇用統計では、賃金上昇率が前年同月比で+2.9%と2018年7月以来の+3%を割り込む結果となりました。失業率は3.5%と低水準を維持しています。

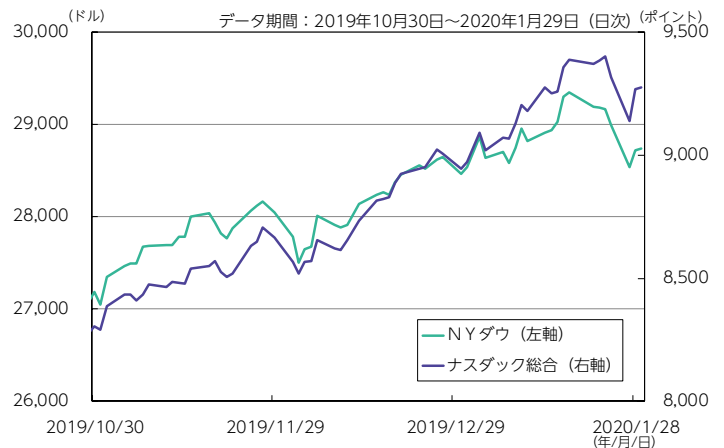
<足元の景況感指標に底入れ感>

- 3日発表の2019年12月米サプライマネジメント協会(ISM)製造業景況感指数は、47.2と前月から0.9ポイント悪化し、2009年6月以来、約10年ぶりの低水準となっており、製造業の景況感悪化が鮮明になる結果が継続しました。一方で16日発表の2020年1月フィラデルフィア連銀製造業景況指数は+17.0と、市場予想(+3.8)を上回り、製造業景況感の底入れを示唆する結果となりました。同指数はISM製造業景況感指数の先行指標と見られています。

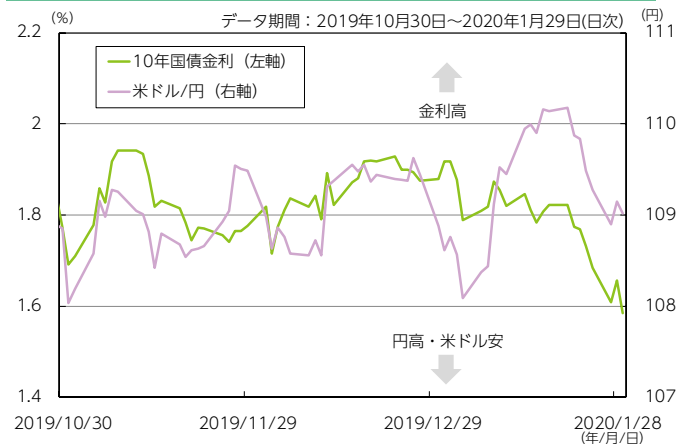
<市場の反応はおおむね限定的>

- 事前の予想通りの会合結果に1月29日の米国株式市場(NYダウ)の反応は限定的でした(図表1)。米国債券市場は、声明文の金融政策スタンスの表現が下方修正されたことなどがややハト派(金融緩和

図表1：米国株式指数の推移



図表2：米国金利・為替の推移



出所) 図表1、図表2はブルームバーグデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

- 推進派的と捉えられ、金利は低下(価格は上昇)しました(図表2)。為替はやや円高に振れました。
- 米中貿易摩擦の緩和により、足元の景況感に底入れの兆しが見られるなど世界経済の持ち直しが期待されていた中で、新型コロナウイルスの感染拡大で中国を始め世界経済への悪影響が懸念されています。パウエル議長は記者会見で、「感染拡大の影響は初期段階で不透明」としながらも、「近い将来、中国などの経済活動に影響はあるだろう」と発言し、注視していく姿勢を示しました。今後のFOMCの金融政策の舵取りに注目が集まるものと思われます。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>